



Obsidian Gemini Helper

ユーザーガイド

チャット、RAG、ワークフロー自動化で「第2の脳」を進化させる

静的なメモ帳から、思考するパートナーへ | Powered by Google Gemini

3つのコア機能: 何ができるの？



AI Chat

ノートと対話する。文脈を理解した回答と、画像やPDFの認識。



Workflow Builder

ノーコードでタスクを自動化。自然言語で自分だけのツールを作成。



RAG / 意味検索

Vault全体を賢く検索。過去のメモから答えを導き出す。

ステップ1：インストール

推奨：BRATプラグイン経由

Beta Plugin Repository URL

`https://github.com/takeshy/obsidian-gemini-helper`

Add Plugin

1. Community pluginの“BRAT”.をインストール
2. BRATの設定 → ‘Add Beta plugin’ を選択.
3. RepositoryのURLを入力

手動インストール

GitHubのリリースページから以下のファイルをダウンロードし、プラグインフォルダに配置：

```
main.js  
manifest.json  
styles.css
```

ステップ2 : API接続



Google AI Studio

無料プラン (Free Tier)
取得可能



API Key



Obsidian Settings

Gemini Helper設定画面に入力

APIキータイプ選択: GeminiのAPIキーが課金対応しているか(有料)無料キーかで使えるモデルに違いがあります。 .

パワーユーザー向け: APIキーなしでもGemini CLIやCodexやClaude CodeをAPIキーなしの場合でも使うことができます。 .

基本操作：ノートと会話する



チャットアイコンまたは`Gemini Helper: Open chat`で起動。

@で特定のノートや変数を参照。

@{content} — Active note

@{selection} — Selected text

/ で定型プロンプト呼び出し。

例: `/summarize`, `/translate`

i チャットは現在開いているノートの内容を自動的に認識します。

Gemini Chat

このノートを要約して
@{content}



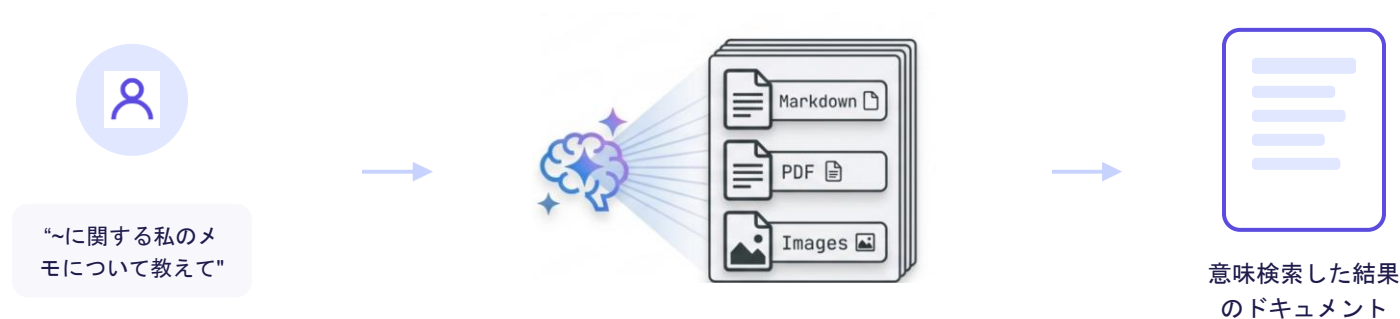
AI Response

はい、このノートの要点は以下の通りです...

|



検索の進化：Vault全体に質問する



RAG (Retrieval-Augmented Generation)

キーワード検索ではなく、意味を理解してVault内の関連情報を収集・回答します。

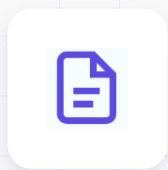
対応ファイル: Markdown, PDF, Images
(PNG/JPEG)

同期方法: 設定画面で反映したいディレクトリを指定し同期ボタンでGoogle File Searchにアップロード

使い方: チャットで自然文で質問するだけ

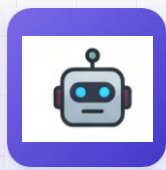
次のレベルへ：ワークフロー自動化とは？

複数の処理ステップを繋ぎ合わせて、タスクを自動化する機能。



Read Note

(読む)



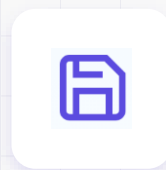
AI Summarize

(AIが要約)



Translate

(翻訳)



Save to File

(保存)

プログラミング知識は不要。

ノードを繋ぐだけで、あなただけのツールが作れます。

AIによるワークフロー生成

言葉で頼むだけで、ツールが作れます。

- 1 サイドバーの**Workflow**タブを開く。
- 2 AIでワークフロー作成ボタンを押す。
- 3 要望を入力(例: “要約して保存”).
- 4 Click **Generate**.

→ AIがnodeを生成したり結び付けて実行可能なWorkflowを生成します。手動でnodeを修正したり再度AIに変更を依頼することもできます

Create New Workflow

選択したノートを要約して、summariesフォルダに保存して

Generate ✨



Success! Workflow Generated.



Read Note
(Selected)



AI Summarize



Save to File
(summaries/)

ビジュアルエディタでの調整

主要なノードタイプ（全22種）



`command`

AIへのプロンプト指示



`note` / `file-save`

結果をファイルに保存



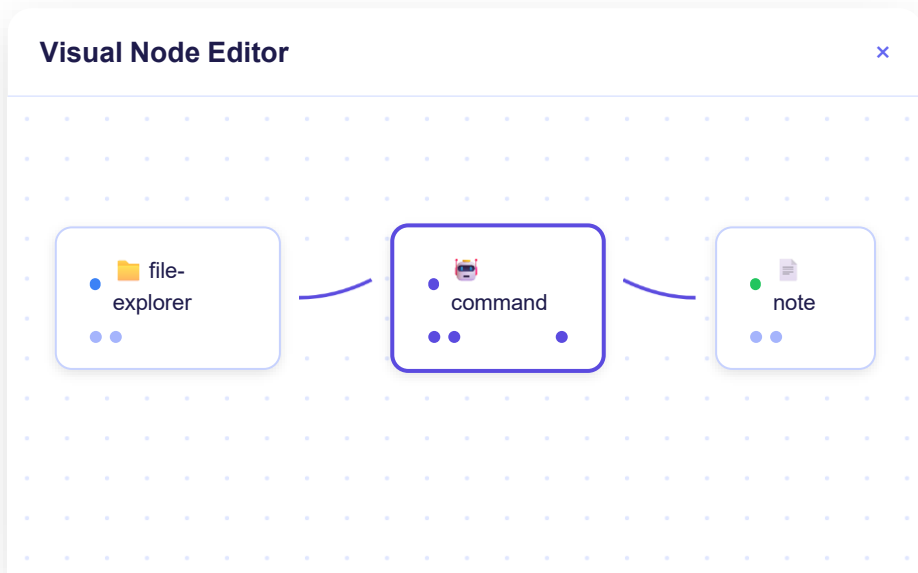
`dialog`

実行時にユーザー入力を求める



`file-explorer`

ファイルや画像の選択



ドラッグ＆ドロップでノードを編集・接続可能。AIが作ったフローを微調整するのに最適です。

自動化を日常に組み込む

Manual Run



Workflowタブから`Run` ボタンをクリック。

Hotkeys



よく使うワークフローにショートカットキー（例: `Ctrl+Shift+T`）を割り当て。

Events (イベントトリガー)



特定の操作で自動発火

- **File 作成時:** noteにタグをつける
- **File 更新時:** 文章をフォーマットする

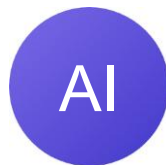
イベント設定はWorkflowパネルの稲妻アイコン（⚡）から行えます。

活用例1：要約作成

長文の議事録やPDF資料から要点だけを抽出して保存したい。



文章/ Selection



AI で要約



新しくnoteを
'summaries/'の下に
作成

Workflow のステップ

1. ファイルもしくは範囲選択

2. AIが文章を要約

3. summaries/配下にノートを保存

活用例2：アイデア出しと推敲

執筆中の行き詰まり（Writer's Block）や文章のブラッシュアップ。

ブレインストーミング



このテーマのアイデアを10個出して

安全な編集

Diff（差分）の確認

元のテキスト:

これは古い文章です。

変更案:

これは新しい、洗練された文章です。

Discard

Apply

`propose_edit` ツールを使用。

AIが変更案を提示 → Diff（差分）を確認 → Apply で適用。

活用例3：学習と知識の接続

過去のメモから知識を再発見・学習する。



Note情報



クイズ/フラッシュカード

解決方法

RAG Query: 「○○プロジェクトに関する過去の知見をまとめて」

クイズ生成: 取得した知見の内容をもとに「この内容からフラッシュカードを作成して」と指示。

メモが単なるアーカイブから、能動的な知識ベース（第2の脳）に変わります。

安全性とデータ管理



編集履歴 & 遣り直し

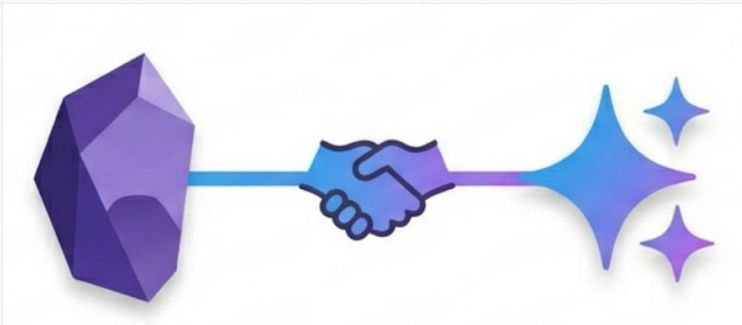
- AIによる変更はすべて履歴に残ります
- 履歴の時点に復元できます。
- 履歴の地点ごとの変更箇所を閲覧できます。



Privacy Control

- データはGoogle API（またはCLI）にのみ送信。
- ローカルファイルは、ユーザーの明示的な指示がない限り外部に出ません。
- ファイル書き込み前に確認ダイアログを表示する安全設計

さあ、始めましょう



まずはチャットから始めて、慣れてきたらワークフロー自動化へ。

あなたのObsidianを、最強のパートナーに育て上げてください。

